

最上川中流水防災意識社会再構築ビジョンの取組

～過去の災害を伝える取り組み～

川の駅・最上峡くさなぎ（最上峡船下りの下船場）において、過去の災害を伝える取組として、パネル展示を開始しました。

パネルは、「最上川の舟運の歴史」「最上川と松尾芭蕉」「過去の水害・土砂災害」「河川・砂防事業の重要性・効果」などの紹介です。今年度は、「最上川直轄改修着手100周年」「直轄砂防着手80周年」の節目であり、逐次パネルを追加・更新していきます。

また、川の駅・最上峡くさなぎは、年間十数万人の観光客が訪れる場所で、休憩の合間『水防災意識社会再構築のきっかけ』となれば幸いです。



最上川 最上川カード

～ 砂防の碑「黙而雄」～

「黙而雄」とは「黙々として与えられた仕事を果たす」という意味で、砂防事業関係者の心意気を表現したものです



最上川直轄改修着手100周年

滝場砂防堰堤

建立年: 昭和三十七年(1962年)11月